

第5回こうれい研まつり「天神から西鉄電車で九博へ行こう」

- 07.10.7 実施 < 旅客施設又は車両等の構造及び施設の基準 > 調査報告 -

・ 調査の概要

調査対象	西鉄天神大牟田線福岡（天神）駅・西鉄二日市駅・太宰府駅及び同線車両
参加者	計11名 リーダー 菅野 弘治(こうれい研・福祉住環境コーディネーター) (内訳) 車いす使用肢体不自由・内部障害者1名、 要約筆記利用聴覚障害者1名、医療書籍編集者1名、 要約筆記者2名、建築士1名、こうれい研会員2名、 学生2名
調査時間	10:00～12:30
調査協力	西日本鉄道(株)鉄道事業本部 計画部営業開発課・運輸車両部車両課

・ 対象別調査報告・・移動経路順に写真を中心として

1、西鉄福岡(天神)駅の旅客施設について

A. 公共通路から駅舎・ホームへの経路

渡辺通からの入口を示す
サインの存在に気付かない



公道から駅舎内への高低差が大き
く、片手操作の車いすは上れない



駅舎の進入路をスロープ化、
誘導ブロックは切れたまま



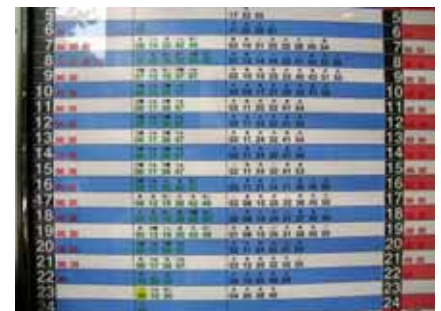
渡辺通からの駅舎入口に
駅構内の全体案内図がない



ビル全体の案内図による経路判断
は駅利用者には分かりにくい
福岡市が補修済み(H20.3 現在)



白地格子状に大きな文字の
方が明瞭に読取れそう
福岡市が補修済み(H20.3 現在)



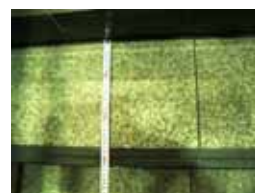
通路から 2F 駅コンコースへの
進入路サインの位置が高い



東西の公共通路から入ると左の
階上への誘導サインがわかりにくい



2F への階段は Rise160 以下/
Tread300 以上のガイド
ラインを満たしている



階段の手すりには水平部が
無く、見えない人には危険



エスカレーター踏板は水平部が
基準の 2 枚なし。端部の色別あり



北口主階段上端部は十分な
点字付き水平手すりがある



エレベーターのサインが立位
前提、扉に窓なし音声なし



入口 W1000、かご W1600
L1800、頭上の鏡が小さい



かご内の案内音声小さい。
障害者用の内部の操作は円滑



車いすによる改札口への順路
が一見では分かり難い



2F に上がりかごが狭いため
後ろ向きにホールに出る



駅ビルより構内通路へ
は W900 以上の自動開閉扉



B. 施設内の通路

西側の障害者用発券機周り
車いす移動を制限している



改札への誘導ブロックは店
に近過ぎて安全に通過できない



誘導ブロック上の障害物
店舗への学習・指導が必要



障害者割引切符の発券確認
右隣の発券機に窓口が無い



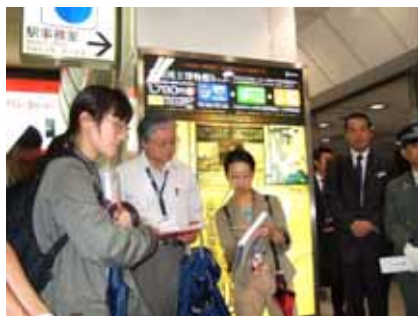
操作すると奥から係りが。
ここで手帳を掲示し購入



車いす用発券機はひざ入れス
ペースが浅く接近を阻害する



聴覚障害者へは要約筆記者
がノートテイクで情報保障



色とりどりの商業看板があり
旅客用案内表示が分かりにくい



車いす用改札は案内所に隣接
投入口の高さは2種類欲しい



下車客用の構外向け案内版
高いが距離があり問題なし



下車後改札へ向かうコンコース
文字や位置・色彩をより明瞭に



改札後右折してトイレへ向う
誘導ブロックは広場を横断



改札内コンコース東側のトイレ。遠くから見えにくい



多機能トイレは男女の間に。マークも入口も見つけにくい



多機能トイレを使おうとする親子。用途をしっかりと掲示する



男女別の間にある多機能トイレ。後退用の下向きの鏡付き



多機能トイレだがオストメイト対応、背もたれ便座等が望まれる



トイレの洗面台。車いす用子供・一般別の高さ・形状を



C. 鉄道駅

行先・時刻案内は字が小さく近くで見るので下向き角度を



ホームへの誘導ブロックは直線であつ適切な安全距離を保つ



各ホームに番線・運行案内の表示が欲しい



車いすの乗客には社内資格を持つ介助員が用具を持参する



段差を自走できなければ介助員がサポートする



スロープは三つ折り軽量で女性でも楽々搬送できる



W830,L890 耐荷重 300kg
表面防滑加工あり



オーストラリア製ミニスロープ
裏面の性能表示。耐加重 300Kg



車両とホーム縁端は 100 mm
ホームの床材が滑りやすい



2、二日市駅の旅客施設について

A. 到着ホームから構内通路と公共通路への経路

エレベーターはW1400L1280
大型の窓・鏡付きで最新設計



出入口W800 とやや狭いが
大型窓で内部がよく見える



各ホームには運行案内表示が
ある。非常時の掲示はどうか



2F 乗り換え通路の移動には
行き先・昇降方向の音声案内を



下りエスカレーター入口には
誤進入感知のセンサーが設置



エレベーターは大きな窓と
車いす退出用鏡も設備



2F 乗換え経路は円滑に移動
できる良い環境



運行案内文字表示を完備。(異常
発生も表示できるか未確認)



ホームへのエレベーター
入り口サインは目線の高さ



改札口への経路は全て斜路
手すりの点字の位置は良好



傾斜の強い斜路は折り返しか
段差解消機の設置が望まれる



トイレの位置は良好。車いす
等のサインは目線の高さに



B. 施設内の通路

多機能トイレのベビーベッド
が下がり車いす入室を妨げる



内部はオストメイト対応型の
多機能トイレになっている



ベッドの位置を変え、退室
用の鏡をつけて欲しい



東改札から入ると長く急な
スロープを登らないといけない



スロープの自走には相当の腕力
を要する(基準 1/12 以下には適合)



2F へのエレベーター乗
口は誤侵入感知器が設置



歩行用階段には手すりと
点字シートが正しい位置に



2F からの歩行用階段手すりは
水平部 600 以上に要改良



車いす乗降客には天神駅と
同様の携帯型ミニスロープ



C. 太宰府行きプラットフォーム

車両とホーム縁端は 110 ~ 140
高低差が 100 以上ある



自走乗車は後進になるので
後方確認が必要になる



ホームは狭く排水勾配が
あるので車いすは要注意



3. 太宰府駅の旅客施設について

A. 到着ホームから構内通路と公共通路への経路

車両とホーム縁端は 110 mm
改札へ高低差が 600 以上ある



ホーム上への長く急な
約 10m のスロープ



自走ではこの急勾配を登
らないとトイレに行けない



勾配の中間にあるトイレへは
一度登り水平部を戻る



女子トイレは水平部にあり
登れば自走して入れる



汚物流しも装備した多機
能トイレ内部



4 国語の行き先案内は全体を
4 色分割して集中効果をはかる



左右は色使いを逆にするなど
視覚効果に配慮したサインに



改札口に置かれた貸自転車
動線上以外へ移転が望ましい



4、西鉄大牟田線の車両について

A. 天神駅から二日市駅の車両について

6000 形車いすスペースには
席のマーク・手すりがある



中吊り広告でせっかくの前後
運行案内表示が見えない



3000 形行き先案内サイン
文字・色彩共にも見やすい



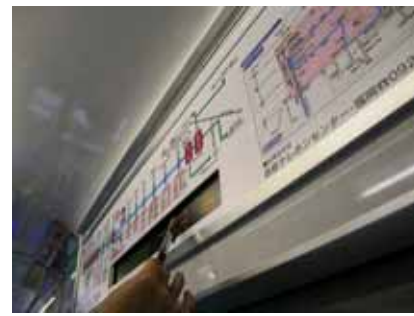
3000 形停車駅案内
行き先・昇降方向の音声案内を



車両は本人希望でどの車両
でも OK



表示部は床向きに角度をつけ
低い位置からも見やすくしたい



3000 形車両外部の行き先表示部



次の停車はどちらのドアかの
案内も表示して欲しい



混むと車両前後やドア上部
運行案内表示部が見えない



異常発生時に表示画面を赤く
する等注意喚起を工夫したい



車両間連結部の車いすでの通過移動は難しい



連結部にはホームからの転落防止ガードが付いている



転落防止ガードの拡大部全ての車両に設置して欲しい



5、調査終了から当日太宰府館にて発表まで

A. 太宰府駅で調査終了 太宰府館へ

太宰府駅改札内部の広場で西鉄側の説明等あり、調査完了



太宰府館で発表に備え評価確認、発表準備を進める車両班のメンバー



B. 太宰府館での発表と調査メンバー

調査の重点ポイント、実施されている点、不足の点、総評・提案の順に報告



旅客施設・車両班のメンバー

